



Kränze Blechbläserquartett

seit 2006

クレンツェ金管四重奏団 第2回演奏会

とき

2007年10月27日(土) 18:00開場 18:30開演

ところ

同仁キリスト教会

(地下鉄有楽町線護国寺駅6番出口徒歩5分)

プログラム

ヒンデミット／朝の音楽

J.S.バッハ／「フーガの技法」BWV1080 より

クーツィール／クアルテッティーノ Op.33-2

J.シュトラウス／喜歌劇「こうもり」序曲

クライスラー／愛の喜び

レハール／喜歌劇「メリー・ウイドウ」より

全席自由 800円

おといあわせ

042-577-4129 (和氣)

info@kraenze-bq.net

<http://kraenze-bq.net/>

クレンツェ金管四重奏団

東京近郊のアマチュア金管楽器奏者により2006年に結成。メンバー全員がドイツまたはオーストリアタイプの楽器を使用している。団体名のクレンツェKränzeはドイツ語名詞Kranzの複数形。Kranzとは環状のもの、とりわけ花環、花冠などを意味し、そこから桂冠、栄冠などの意味をも表す。また、ドイツ製金管楽器の朝顔部分に取り付けられる環状の響き止め(植物などをかたどった美しい彫刻が彫られていることが多い)のこともKranzと呼ぶ。さらには「会」「小さな集い」といった意味も持つ。ドイツの金管楽器の美しい響き、ひいてはそのようなものを産み出したヨーロッパの歴史や文化に対する敬意を表しつつ、我々の小さな集まりから流れ出る音楽が人々を繋ぐ大きな環となることを願って、この語を団体名に冠した。

メンバー

和氣愛仁(わき・としひと):トランペット

ガンマプラスアンサンブル、ピストンクラブ所属。使用楽器: ヴィンディッシュ(B管・C管)、レヒナー(ピッコロ)

倉田京弥(くらた・きょうや):トランペット

聖バレンタイン・プラスアンサンブル、新交響楽団所属。使用楽器:レヒナー(C管)

松村壮(まつむら・たけし):トロンボーン

ガンマプラスアンサンブル、レントラートロンボーン四重奏団所属。使用楽器:ヤマハウィンナモデル

柳田允(やなぎだ・まこと):バストロンボーン

ファイアワークスプラスアンサンブル、アンサンブル・フェスタ所属。使用楽器:タイン